

2021年7月6日

報道関係各位

ヴィーブヘルスケア株式会社

ヴィーブヘルスケア、HalozymeとHIVに関する超長時間作用型医薬品開発を可能にする ENHANZE® ドラッグデリバリー技術について、グローバルでの提携とライセンスに関する契約を締結

Halozyme のドラッグデリバリー技術は、ヴィーブヘルスケアの HIV 薬のパイプラインに対して、3 か月ごと、最長 6 か月ごとの投与間隔を可能とする大量投与の皮下注射剤の機会を提供する

2021年6月22日英国ロンドン、サンディエゴ：GSK、ファイザー、塩野義製薬が資本参加するグローバルな HIV 領域のスペシャリスト・カンパニーであるヴィーブヘルスケアと Halozyme Therapeutics, Inc. (Nasdaq: HALO、以下 Halozyme) は本日、HIV の治療および予防に用いる特異的な標的として、Halozyme の ENHANZE® ドラッグデリバリー技術(リコンビナントヒトヒアルロニダーゼ PH20 エンザイム(rHuPH20))に独占的にアクセスできるグローバルでの提携とライセンスに関する契約を締結したことを発表しました。

本契約に基づき、ヴィーブヘルスケアは、HIV を標的とする、4 種類の低分子、高分子化合物に対する独占的契約のため Halozyme に 4000 万ドルを支払い、特定の開発、商業化のマイルストーン(セールスマイルストーンを含む)の達成を条件として、最大 1 億 7500 万ドルを支払います。また、Halozyme は、この技術を用いた治療薬が販売された場合、数パーセントのロイヤルティを受け取る権利を有します。

PH20 エンザイムは、皮下空間(皮膚の下)に存在し体液の流れの障壁となるヒアルロン酸(HA)を分解します。注射部位の HA を局所的に分解し、その障壁を一時的に除去することで、大量の注射液を皮下空間に注入し、分散させることができます。皮下注射による大量の注射液を迅速かつ容易に供給することが可能になり、注射の治療負担を低減し、HIV とともに生きる人々に最適な治療選択肢を提供できる可能性があります。HA は通常 24~48 時間以内に回復します。

Halozyme の技術により、ヴィーブヘルスケアは、超長時間作用型医薬品(投与間隔が 3 カ月以上)を開発し、長時間作用型のポートフォリオとパイプラインを増強できる機会が広がります。本技術を用いる最初の試験として、現在 2 カ月ごとに投与されている HIV 感染予防を目的とする長時間作用型カボテグラビルの試験を 2021 年末までに開始することが検討されています。

ヴィーブヘルスケアの Head of Research & Development である Kimberly Smith 博士は次のように述べています。

「多くの HIV とともに生きる人々や HIV に苦しんでいる人々は、様々な理由から、私たちに毎日治療薬を服用することが大変だと訴えており、私たちは彼らの言葉に耳を傾けてきました。私たちは、長時間作用型の治療薬が、HIV 治療の未来であると信じており、これまで満たされることになかったニーズを満足する一助になると考えています。Halozyme との協働により、HIV 治療の負担軽減に向け、HIV の治療と感染予防に対する新たな選択肢を開発し、増やしていくことに尽力していきます。」

Halozyme の President and Chief Executive Officer, である Helen Torley 博士は次のように述べています。

「私たちは、ヴィーブヘルスケアと提携し、HIV 治療薬の新たな薬物送達の実現を創出することを楽しみにしています。この提携により、従来の医薬品だけでなく、低分子を含む長時間作用型の注射剤を迅速かつ大量に皮下注射することを可能にする私たちの技術の潜在的価値を実証することができます。これにより、HIV の治療および予防の投薬間隔をさらに長くできることが期待できます。」

このライセンス契約により、ヴィーブヘルスケアは Halozyme の HurPH20 の技術を、HIV を標的とする 4 種類の医薬品に独占的に使用することができ、ヴィーブヘルスケアが持つパイプラインの開発の機会を拡大することができます。これらは、インテグラーゼ阻害剤、核酸系逆転写酵素阻害剤 (NRTI) および核酸系逆転写酵素トランスロケーション阻害剤 (NRTTI)、カプシド阻害剤、および gp120 CD4 結合部位に結合する広域交差性中和抗体 (bNAb) になります。

Halozyme は、同社の持つ技術を、現在、オンコロジー、免疫不全を適応とした製品とオンコロジー、自己免疫疾患、希少疾患および感染症の分野へ潜在的に使用することについて、11 社の製薬会社及びバイオテクノロジーの企業とライセンス契約を締結しています。また、Halozyme は現在、米国国立アレルギー感染症研究所ワクチン研究センターと、共同研究開発契約を締結しています。この契約には、ヴィーブヘルスケアが 2019 年に米国国立衛生研究所からライセンス供与を受けた bNAb、N6LS も含まれています。

Halozyme について

Halozyme は、新しい治療法や確立された治療法による結果を大幅に改善するための革新的なソリューションをもたらすバイオ医薬品企業です。Halozyme は、パートナー企業がグローバルな商業的成功を達成できるよう支援しつつ、患者の生活を向上させることを目的として、新薬開発の主要な側面で、バイオ医薬品パートナー企業に助言・支援しています。時間単位の治療を分単位に短縮できる ENHANZE® 技術のイノベーターとして、Halozyme の商業的に検証されたソリューションにより、商品化された 5 製品を通じて 100 以上のグローバルの市場で 50 万人以上の患者様の生活に影響を与えてきました。現在、Halozyme と世界中のパートナーは、患者様の生活を改善できる可能性がある、革新的な治療法を提供することを目的とした複数の治療プログラムを進めています。Halozyme 独自の酵素である rHuPH20 は、ENHANZE® 技術の根幹を成し、注射された薬物および輸液の供給を容易にするために使用され、患者様が服用する他の薬物の治療負担を削減できる可能性があります。Halozyme は、ENHANZE® 技術を Roche, Baxalta, Pfizer, Janssen, AbbVie, Lilly, Bristol-Myers Squibb, Alexion, argenx, Horizon Therapeutics、ヴィーブヘルスケアなどの製薬企業やバイオテクノロジー企業とライセンス契約を締結しています。Halozyme は、協働するパートナー企業が ENHANZE® を使用して開発する製品の開発・商業化における、マイルストーンとロイヤリティとして収益を得ています。Halozyme はサンディエゴに本社を置いています。詳細については、www.halozyme.com をご覧ください。

ヴィーブヘルスケアについて

ヴィーブヘルスケアは、英国グラクソ・スミスクラインと米国ファイザーによって 2009 年に設立された、抗 HIV 薬に特化したスペシャリスト・カンパニーです。2012 年 10 月に塩野義製薬株式会社が 10% の持ち分を取得しました。ヴィーブヘルスケアは、どの会社よりも、HIV/AIDS についてより深い、幅広い関心を持つことで、新たなアプローチで効果的な新規の HIV 治療薬を提供し、HIV の影響を受けているコミュニティを支援することを目指しています。詳細は、www.viivhealthcare.com をご覧ください。



GSK について

GSKは、より多くの人々に「生きる喜びを、もっと」を届けることを存在意義とする科学に根差したグローバルヘルスケアカンパニーです。詳細情報は<https://jp.gsk.com>を参照ください。